

社会・労働関係文献月録

2014.2.1～2014.2.28受け入れ分

- ・分類表は2005年12月号に掲載されています。
- ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。掲載文献は当研究所で閲覧・複写できます。ただし紀要については、所蔵していないものもあります。
- ・所内での複写は有料です。文書等（はがき、FAX、e-mail）でお申し込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。本誌の定期購読者には、複写料の割引があります。

法政大学大原社会問題研究所編

〒194-0298 東京都町田市相原町4342
tel: 042-783-2306 fax: 042-783-2311
e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

凡例

文献資料名 *書名	著者名	収録誌名 発行所	号または 巻一 版 型と 頁数	発行 年・ 月
--------------	-----	-------------	-----------------------------	---------------

I 理論・一般

0. 総記

特集 「グローバル化・自由化と所得不平等研究」特集		経済科学 (名古屋大)	60-2	12.12
The urban-rural income inequality in Thailand (Rueanthip Kittipong) Income inequality and migration in Vietnam (Nguyen Tien Dung) The role of migration and remittances for the poor in growing India (Kato Mariko) 韓国の労働移動と農業発展 (金 昌男) 中国の経済格差, 階層分化と教育 (牧野文夫, 羅歆鎮)				
ダニエル・ベルの脱工業社会論と資本のシステム	佐々木康文	商学論纂 (中央大)	54-3/4	12.12
特集 沖縄から—平和と人権を問う		人権と部落問題	65-2	13. 2
沖縄における人権問題 (高良鉄美) 八重山教科書採択問題と住民運動 (藤井幸子) 基地に依存しない「もう一つの沖縄」に向けて前進する若者たち (北上田源) 沖縄における「島ぐるみ」運動の系譜 (櫻澤 誠) 「復帰四〇年」の沖縄と憲法・安保条約 (小林 武)				
ヘイトクライム・ヘイトスピーチ (講演)	(豊福誠二)	部落解放	672	13.1月増刊号
全国母子世帯等調査から考えるシングルマザーの生活	大森順子	部落解放	673	13. 2
グローバル化を考える	竹田茂夫	労働法律旬報	1782	12.12.下旬
* コミュニズムの仮説	アラン・バディウ著 市川崇訳	水声社	B6.267	13.10
* レイシズムと外国人嫌悪	駒井洋監修 小林真生編著	明石書店	A5.225	13.10
* 戦後マルクス主義の思想	東京唯物論研究会, 岩佐茂, 島崎隆, 渡辺憲正編著	社会評論社	B6.299	13.11
* 日本統計年鑑 第63回 平成26年	総務庁統計局編 日本統計協会 (共同刊行: 毎日新聞社)		B5.980	13.11
* 活憲左派	村岡 到編著	ロゴス	A6.132	13.12
* 多文化であることとは	宮島 喬	岩波書店	B6.291	14. 1
* 年報政治学 2013-2	日本政治学会編	岩波書店	A5.327	14. 1

1. ジェンダー・フェミニズム・女性論

マテリアル・ガール試論	當間 麗	青山経営論集	47-別冊	12.12
夫の失業前後の妻の就業行動の変化について	佐藤一磨	経済分析	186	13. 1
特集 私らしくマイノリティを生きる		月刊ヒューマンライツ	299	13. 2
生活実態調査にみる部落女性の実態 (内田龍史) マイノリティ女性の声が女性差別撤廃条約を変える原動力 (インタビュー) (林 陽子) 企業における女性のエンパワメント (大西祥世) 女性差別撤廃条約と選択的夫婦別姓について考える (乗井弥生)				
ジェンダー平等社会の実現への課題	酒井和子	社会主義	608	13. 2

セクシュアルマイノリティの人権	土肥いつき	部落解放	672	13.1月増刊号
HIV相談事業から見える性差別	笹部ゆき	部落解放	673	13. 2
2. 労働論				
なぜ働くのか	佐々野謙治	エコノミクス (九州産業大)	17-2	12.12
3. 労使 (資) 関係論				
この人に聴く労使関係 (8)	(高木剛 聴き手: 仁田道夫 渡辺章)	中央労働時報	1156	13. 1
派遣労働関係における派遣元の労組法上の「使用者性」と団交応諾義務	大橋範雄	中央労働時報	1156	13. 1
6. 社会政策論				
* 子どもの貧困 2	阿部 彩	岩波書店	B40.264	14. 1
8. 社会福祉論				
* 貧困のなかでおとなになる	中塚久美子	かもがわ出版	B6.187	12.10
* 子育て支援の社会学	松木洋人	新泉社	B6.273	13.10
* 生活保護で生きちゃおう!	雨宮処凛, 和久井みちる文	さいきまこ漫画 あけび書房	A5.130	13.10

II 労働問題

20. 総記				
官製ワーキングプアなくし誰もが幸せに働ける社会へ (インタビュー)	(竹信三恵子 聞き手: 編集部)	国公労調査時報	602	13. 2
大学生が展望するワーク・ファミリー・バランス	富田真紀子, 金井篤子	産業・組織心理学研究	26-1	12. 9
俺たちは使い捨て (インタビュー)	(遠藤さん (仮名) 聞き手: 奥村岳志)	情況	4期1-7	12.11/12
景気・雇用・賃金について悲観的見方が継続		連合総研レポートDIO	278	13. 1
21. 雇用・労働市場				
グローバル化と日本の産業, 地域のあり方 (パネルディスカッション問題提起) (要旨)	(橘川武郎)	連合総研レポートDIO	277	12.12
グローバル化と労働市場 (パネルディスカッション問題提起) (要旨)	(太田聰一)	連合総研レポートDIO	277	12.12
日本企業の国際展開の現状と課題 (パネルディスカッション問題提起) (要旨)	(森まり子)	連合総研レポートDIO	277	12.12
日本経済の現状と課題 (講演) (要旨)	(小峰隆夫)	連合総研レポートDIO	277	12.12
22. 労働条件				
職場の法律相談 業務上のミスで損害賠償請求が認められるか	東京共同法律事務所	月刊労働組合	578	12.12
23. 賃金問題				
約75万人の非正規雇用労働者抱える自治体 多くは年収200万円以下で無権利状態	労働大学調査研究所	月刊労働組合	578	12.12
日本の賃金—歴史と展望—に関する研究報告書		連合総研レポートDIO	277	12.12
24. 労働時間				
特集 高齢期まで働くためのワーク・ライフ・バランス		エルダー	35-2	13. 2
WLBをふまえた正社員制度 (久本憲夫) 健康管理の側面からみたワーク・ライフ・バランスの意義 (田中 完)				
時代に先駆けた「自由出勤制度」, 「エイジフリー制度」で生涯現役を実現 ワーク・ライフ・バランスは子育てから介護へ (穂積富士夫) 制度導入で競うのではなくWLBの本質的価値を見出すべき (インタビュー) (佐藤博樹)				
過酷な長時間労働浮きぼり	医師ユニオン	月刊労働組合	578	12.12
医労連「2012年度夜勤実態調査」 短い勤務間隔など問題が山積	日本医療労働組合連合会	月刊労働組合	580	13. 1

26. パート・派遣労働				
均等待遇の実現に向けて (シンポジウム)	(脇田滋 田淵大輔 川村遼平 小野寺義象 遠藤公嗣 中村和雄 司会:中西基)	労働法律旬報	1782	12.12.下旬
28. 女性労働				
女性の非正規労働者	島田博子	科学的社会主義	178	13. 2
女性の人材育成に不可欠 (質疑と討論)	柚木康子	月刊労働組合	578	12.12
中国「女性従業員労働保護特別規定」の成立とその特色	畢凡	労働法律旬報	1782	12.12.下旬
30. 若年労働				
特集 若者はどう世界を生きているか		経済	210	13. 3
「使い捨て」労働と青年の自立 (座談会) (乾彰夫 森岡孝二 木下秀雄)		労働法制の激変とその影響 (笹山尚人)		
ハローワークからみた若者の就労支援 (河村直樹)		貧困の現場で考える支援と「自立」(てい談) (金平学 佐々木路生 呂民愛)		
6割が「収入不足が研究に影響」 高学費「苦」、就職不安…… (全国大学院生協議会)		若手組合員たちの労働組合への意識調査から (小澤薫, 中澤秀一, 村上英吾)		
「若者雇用」をめぐる論点	龍井葉二	連合総研レポートDIO	277	12.12
* 中小企業における若年者雇用支援施策の利用状況		労働政策研究・研修機構	A4.207	13.11
* 「働く」ために必要なこと	品川裕香	筑摩書房	B40.201	13. 5
35. 労災, 職業病, 健康問題				
労災災害防止に関する一考察	金原清之	労働経済春秋	8	12.12
特集 石綿健康被害補償・救済状況の検証		安全センター情報	401	13.1/2
石綿肺がん救済3年連続減少 認定率・都道府県格差も拡大 カナダがアスベスト生産中止 ブラジル最高裁が近く判断 (古谷杉郎)		パリのアスベスト被害者 初の国際行動, 集会とデモ (古谷杉郎)		
韓国の筋骨格系疾患予防法	イム・サンヒョク	安全センター情報	401	13.1/2
筋骨格系障害予防対策は世界共通の取り組み課題	全国安全センター事務局	安全センター情報	401	13.1/2
首都圏建設アスベスト訴訟 国の責任認める東京地裁判決		安全センター情報	401	13.1/2
まだまだ不十分な石綿肺がんの労災認定基準改定	平野敏夫	労働者住民医療	272/273	12.11/12
36. ハラスメント				
職場のメンタルヘルスの実務	夏見陽介	労働経済春秋	8	12.12
特集 ハラスメントのない職場づくり		働くもののいのちと健康	54	13. 1
自治体職場での“ハラスメント” (梶山幸生) 日本IBMにおけるハラスメント状況と労働組合の取り組み (杉野憲作)		ハラスメントのない職場をめざして (前野雄吉) ハラスメントのない職場づくり (田畑俊郎) 労働とメンタルヘルス, ディーセントライフを目指して (阿部眞雄) 労働相談から見たハラスメントとこれへの反撃法 (前澤 檀) 精神科臨床でハラスメントについて考える (松浦健伸)		
職場のいじめ・嫌がらせ, パワーハラスメント問題をめぐる政策動向と予防・解決に向けた労使の取り組み	(講演) (内藤 忍)	部落解放	672	13.1月増刊号
セクシュアル・ハラスメント被害と労災補償	山崎文夫	法学新報 (中央大)	119-5/6	12.12
「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」の報告書がまとまる		労働基準局労働条件政策課賃金時間室	労働基準	65-1 13. 1
37. 勤労者意識				
就職後半年間で何が変わったのか 生産性本部「新入社員意識調査」から	竹地隆一	月刊労働組合	580	13. 1

III 労働運動

40. 総記				
相模鉄道労組 一二秋闘	高橋廣康	科学的社会主義	178	13. 2
ディーセントワークとジェンダー平等社会の実現めざして, 10万人生協労連の展望を	北口明代	経済科学通信	130	12.12
特集 非営利協同組織と文化経済学		経済科学通信	130	12.12
労働者協同組合運動 (岡安喜三郎) ホームレス自立支援法の10年とこれからの課題 (沖野充彦) 非営利・協同				

組織は「雇用と福祉」をめぐる問題とどう向き合うのか（北島健一）芸術文化支援の根拠を考える（阪本 崇） 創造都市研究の現段階と課題（佐々木雅幸）					
産別労組の二〇一三春季生活闘争方針を検討する	足立康次	社会主義	608	13. 2	
連合二〇一三春季生活闘争方針の検討	岩場 朗	社会主義	608	13. 2	
2000年代の産業構造と階級構成・労働者状態の変化	藤田 実	商学論纂（中央大）	54-3/4	12.12	
41. 労働組合・運動論					
特集 労働組合・組織化の課題		労働調査	515	13. 1	
連合の「1,000万連合実現」が意味するもの、そのポイント（鈴木人司）UAゼンセンの今後の組織拡大への展望と課題（橋本和秀）公共民間および自治体非正規職員の組織拡大の取り組み（自治労・組織拡大大局）JAMの組織拡大の取り組みと今後の課題について（川野英樹）敷島製パン労組における非正規従業員組織化の取り組み（杉田康一郎）連合大阪における組織化の取り組みについて（坂本博信、大塚義彦）組織拡大へ向けた「戦略」と「オルガナイザーの育成」（古山 修）					
42. ナショナルセンター					
*国民春闘白書 2014	全国労働組合総連合・労働運動総合研究所編	学習の友社	A4.95	13.12	
43. 地域別、産業別共闘					
重視される社会的効率一ばらまきも、採算性のみによる事業評価も否定					
	交運労協	月刊労働組合	580	13. 1	
*賃金・労働条件報告書 統計集計一覧 2013年6月	全日本運輸産業労働組合連合会		A4.161	13.12	
*賃金・労働条件報告書 単組別一覧 2013年6月	全日本運輸産業労働組合連合会		A4.205	13.12	
44. 単産、単組					
UAゼンセンの誕生と今後の展望	山田行雄	月刊労働組合	578	12.12	
松戸自動車学校でスト決行	原田俊雄	月刊労働組合	578	12.12	
要求の柱は一会社存続と雇用確保	連合ユニオン東京	スガイ交通ユニオン	月刊労働組合	580	13. 1
46. 賃金闘争（含 生活改善闘争）					
【資料】連合2013春季生活闘争方針（案）		月刊労働組合	580	13. 1	
連合13春闘方針（案）を読む	新井栄三	月刊労働組合	580	13. 1	
48. リストラ・雇用対策					
福祉施設の人員増求め交渉	新潟県職員労働組合	月刊労働組合	580	13. 1	
49. 権利闘争					
特集 国鉄決戦・裁判闘争外注化阻止、解雇撤回・JR復帰へ全力投入を		国際労働運動	437	13. 1	
JRを震撼させた外注化闘争 動労千葉に「画期的反動判決」 外注化阻止の第2ステージへ 動労千葉 鉄建公団（鉄道建設運輸機構）訴訟一審 6・29判決＝東京地裁民事11部（白石哲裁判長）（抜粋）					
公務員の市民的・政治的自由確立への重要な前進	加藤健次	国公労調査時報	602	13. 2	
50. 政策制度闘争					
厚生労働省「高年齢者雇用安定法Q&A」（抜粋）		月刊労働組合	578	12.12	
特集 どうなる60歳以降の雇用と賃金		月刊労働組合	578	12.12	
実態値から所得水準に目安（JAM）今の生活水準維持を重視（フード連合）必要生計費等をハードルに（基幹労連）同じ仕事なのに年収3割減（連帯ユニオン 関東支部長澤運輸分会）【資料】連合「改正高年齢者雇用安定法」に関する取り組みについて 低賃金化に大きな不満（郡司正人）					
52. 労働組合と政治					
「与党化」する菅内閣、「自民党化」する野田内閣（報告）（上川龍之進）連合総研レポートDIO 278 13. 1					
アクティベーションに政策転換したものの、アプローチに揺らぎ（報告）（宮本太郎）連合総研レポートDIO 278 13. 1					
地方分権改革は進んだが、国会諸制度のハードルの高さの問題（報告）（北村 亘）連合総研レポートDIO 278 13. 1					
民主主義をより進化させていくための政治主導を取り戻すことが必要（報告）（三浦まり）連合総研レポートDIO 278 13. 1					
リベラル勢力の再構築に向けて民主党政権の「失敗」の要因を検証（報告）（伊藤光利）連合総研レポートDIO 278 13. 1					

連合は幅広く開かれた政策参加を再検討せよ (報告)	(篠田 徹)	連合総研レポートDIO	278	13. 1
54. 労働者福祉・協同組合運動				
特集 社会運動としての生活クラブ		社会運動	394	13. 1
生活クラブの共済運動の展開 (麻生純二) 個人化の時代における社会運動, そして生活クラブ運動の今後 (道場親信) 21世紀初頭の生活クラブ運動の使命は何か (横田克巳)				
IV 経営労務				
60. 総記				
企業の非倫理的行為の発生過程に関する探索的研究				
	福尾弘子, 金井篤子	産業・組織心理学研究	26-1	12. 9
企業の社会的責任と人権 (講演)	(関 正雄)	部落解放	672	13.1月増刊号
*2011年東日本大震災下の中小企業再生と雇用問題				
	田口典男	全国勤労者福祉・共済振興協会	A4.179	14. 1
*活用労働統計 2014		日本生産性本部生産性労働情報センター	B6.232	14. 1
*春季労使交渉・労使協議の手引き 2014年版		日本経団連出版	B5.151	14. 2
61. 人事・労務管理				
同族企業における人事・労務管理制度の形成と離職率への影響	松浦司, 野田知彦	経済分析	186	13. 1
戦前期兼松の賃金構造	藤村 聡	国民経済雑誌 (神戸大)	206-6	12.12
自治体職員の目的指向型経営管理行動が内発的動機づけと对人的促進に及ぼす影響: 室制の文脈効果に着目して				
	坂野達郎, 朴堯星	産業・組織心理学研究	26-1	12. 9
特集 メンタルヘルス対策		労政時報	3836	12.12.28
味の素 (労務行政研究所編集部) 帝人 (労務行政研究所編集部) 凸版印刷 (労務行政研究所編集部) 新日鉄住金ソリューションズ (労務行政研究所編集部) サンデン (労務行政研究所編集部) 人事担当者157人に聞いたメンタルヘルス対応の実際 (労務行政研究所編集部) 独自の取り組みにより予防・改善につなげる5社の事例 (労務行政研究所編集部)				
*仕事と介護両立ハンドブック	新田香織	日本生産性本部生産性労働情報センター	A5.120	13.12
64. 定年制, 退職金, 企業年金				
日立国際電気企業年金基金		企業年金	401	13. 1
特集 企業年金制度の課題と方向性		労務事情	1244	13.1.1/15
今後の企業年金制度のあり方と企業の対応を考える (座談会) (榎木敬 山本御稔 司会: 森戸英幸)				
65. 福利厚生				
特集 美味しい, 安い, ヘルシー快適な社員食堂		人事実務	1121	13. 2
ワンフロアを占める900席の広さ,設備も充実 13種の豊富なメニューで「食」を楽しむ (小林信一) 食事による健康管理に積極的に取り組む 直営方式で心のこもったメニューを提供 (阿部まさ子) 定食をヘルシーにしサイドメニューが充実 併設のカフェではパンやスイーツも用意 (中田正則) 最近の社員食堂の傾向と特徴, 管理・運営とCSR・コンプライアンス (露木美幸)				
*福利厚生費調査結果報告 2012年度		日本経済団体連合会	A4.63	14. 1
66. 教育・訓練				
*「構造変化の中での企業経営と人材のあり方に関する調査」結果		労働政策研究・研修機構	A4.171	13.12
68. 安全衛生管理				
組織風土の変化が看護師のストレス反応に与える影響				
	松本みゆき, 金井篤子	産業・組織心理学研究	26-1	12. 9
*建設現場で使える労働安全衛生法Q&A	村木宏吉	大成出版社	A5.315	13.10
*メンタルヘルス, 私傷病などの治療と職業生活の両立支援に関する調査		労働政策研究・研修機構	A4.332	13.11

V 労働・社会政策

70. 総記

ドイツ・大学教員の業績給	藤内和公	岡山大学法学会雑誌	62-2	12.12
特集 社会的事業所—労働を通じたソーシャルインクルージョン		季刊福祉労働	137	12/13.Winter
社会的企業の国際的動向と経済危機下における可能性（北島健一）深刻化する貧困・失業を目の前に、イタリア社会的協同組合はどう動くのか（田中夏子）韓国における社会的企業の成果と課題（イ・インジェ）台湾の障害者雇用と社会的企業（水野有香）フィリピンにおける社会的企業BBMC（リチャード・D.アルセーニョ）「共働事業所」から「社会的事業所」へ（斎藤縣三）日本では社会的事業所（堀 利和）社会的排除／包摂と社会連帯経済（福原宏幸）				
廃棄物・リサイクル政策の国際化：越境移動問題との関連性を中心に				
	阿部 新	研究論叢（山口大）	62-1/2	13. 1
特集 ご近所でもまるごとケアづくり—歌舞伎町ご近所フォーラム		社会運動	394	13. 1
地域のまるごとケアづくりをめざして（園田真理子）都市の高齢化と若年困窮者への雇用創出（佐久間裕章）安心を！ せっせと種まき、耕して（池口葉子）				
隠居の処遇とその自助精神	高木 侃	日本歴史	776	13. 1
特集 企業内労働者代表制度の展望		日本労働研究雑誌	630	13. 1
ドイツにおける企業レベルの従業員代表制度（ベルント・ヴァース 翻訳：仲琦）企業内労働者代表制度の現状と課題（竹内（奥野）寿）フランスにおける企業内従業員代表制度（シルヴェヌス・ロロム 翻訳：石川茉莉）イギリスにおける企業レベル被用者代表制度（ルース・デュークス 翻訳：濱口桂一郎）アメリカの企業における従業員代表制度（オーリー・ローベル，アン・マリー・ロファソ 翻訳：富永晃一）韓国における企業レベルの従業員代表制度（李哲洙，李多惠 翻訳：車東昱）労使関係論からみた従業員代表制のあり方（呉学殊）				
部落の母子家庭の実態と課題（講演）	（神原文子）	部落解放	672	13.1月増刊号
イギリスにおける平等義務の展開と課題	長谷川聡	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
組合バッジをめぐる法的問題	中村和夫	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
障がいのある人の雇用に関わる、いわゆる「合理的配慮」義務	高橋賢司	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ヨーロッパにおける労働事件の国際裁判管轄権	柚原愛子	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12

71. 雇用・労働市場政策

崖っぷち日本産業・「雇用」からの成長戦略	小林良暢	労働経済春秋	8	12.12
地元における雇用の潜在性と進路指導のギャップ	窪田玲奈	北海道大学大学院教育学研究院紀要	117	12.12
東日本大震災被災者への就労支援の取組み	渡辺寛人	人事実務	1121	13. 2
雇用創出へ「日本型ワークシェアリング」を	藤田 宏	経済	210	13. 3
欧州国境地域における越境労働市場の現状	土井康裕，鈴木健介	経済科学（名古屋大）	60-2	12.12

76. 社会保障政策

社会保障における「世帯」概念の今日的意味	原田啓一郎	労働経済春秋	8	12.12
税制改革（講演）	（峰崎直樹）	青山法学論集	54-3	12.12
憲法二五条から社会保障，税制を考える	山家悠紀夫	アジェンダ 未来への課題	39	12.冬号
医療制度に関する経済学的考察	知野哲朗	東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ	64	13. 1
生活保護基準引き下げは国民生活に何をもたらすか	金澤誠一	議会と自治体	178	13. 2
社会保障制度改革国民会議に期待すること	山口 修	企業年金	401	13. 1
国民管理・監視強化につながる共通番号制	白石 孝	月刊労働組合	578	12.12
職場の法律相談 会社が雇用保険未加入でも給付が受けられるのか	東京共同法律事務所	月刊労働組合	580	13. 1
消費税と年金の将来にむけて	山本 茂	社会主義	608	13. 2
在職老齢年金再考	江口隆裕	週刊社会保障	2710	13.1.14
生活保護法63条による費用返還	丸谷浩介	週刊社会保障	2710	13.1.14
生活保護基準切り下げは日本社会に何をもたらすか（インタビュー）	（吉永 純）	前衛	891	13. 2
全国で障害児学校の増設を	土方 功	前衛	891	13. 2

特集 社会保障と税の一体改革の批判的検証		総合社会福祉研究	41	12.12
「社会保障と税の一体改革」は、何を目的しているのか（芝田英昭）	消費税と社会保障（浦野広明）	地方財政改革と住民の暮らし（森 裕之）		
アメリカ医療保障制度改革と国民皆保険の法的位相	河合 壘	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
低所得者のための医療保障の方向性	新田秀樹	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ドイツ介護保険法における権利擁護システムの展開	小西啓文	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ポスト受動的福祉国家のアイデアと連帯	中島康子	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
特集 「世代間格差」を問う		連合総研レポートDIO	278	13. 1
雇用をめぐる世代間問題（大石亜希子）	世代間連帯の再構築による社会保障改革を（土田武史）			
持続可能な年金制度構築に向けた提言	関西経済連合会	労経ファイル	585/586	13.1.1/15
77. 社会福祉政策				
子ども・子育て関連三法では問題は解決できない	村山祐一	前衛	891	13. 2
保育要求、保育の現場から何が見えるか	実方伸子	前衛	891	13. 2
韓国における子どもの放課後対策と地域児童センターの現状	南 銀伊	総合社会福祉研究	41	12.12
韓国における認知症高齢者の家族介護者支援の課題	金 圓景	総合社会福祉研究	41	12.12
キューバ・ハバナにおける障害児教育の実情	黒田学、小西豊、	荒木穂積、バユス・ユイス、平沼博将、		
坂井清泰、向井啓二、仲春奈		総合社会福祉研究	41	12.12
特集 福祉専門職養成をめぐる諸問題		総合社会福祉研究	41	12.12
新システムと保育者養成の現状及び課題（杉山（奥野）隆一、西垣美穂子）	福祉専門職養成をめぐる諸問題（紀要編集委員会41号企画委員）	介護福祉士養成の課題（堅田知佐）	社会福祉士養成をめぐる諸問題（矢部広明）	精神科ソーシャルワーカーと精神保健福祉士養成（山本耕平）
地域包括ケアのねらいと具体像に関する一考察	鶴田禎人	総合社会福祉研究	41	12.12
中国大都市部における介護職養成の現状と課題	陳 引弟	総合社会福祉研究	41	12.12
他児養育制度としての里親制度の特色	鈴木博人	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
特集 生活困窮者の自立支援のあり方—生活支援戦略「第二のセーフティネットの見直し」		連合総研レポートDIO	277	12.12
パーソナル・サポート・サービスの現状と課題（鈴木晶子）	若者の就労支援と「中間的就労」（小杉礼子）	住宅手当制度の現状と課題（山田育男）		
78. 労働法				
特集 労働関係法令の改正		労働経済春秋	8	12.12
二〇一二年高年齢者雇用安定法の改正と今後の課題（新谷真人）	改正労働契約法と企業の対応（安西愈）	労働者派遣法の改正に思う（玉泉孝次）		
事業場外労働みなし制をめぐる裁判例の動向と課題	大橋 將	労働経済春秋	8	12.12
2013年労働関係法制の展望	濱口桂一郎	電機連合NAVI	46	13.冬
有期労働契約と変更解約告知	金井幸子	愛知大学法学部法経論集	193	12.12
改正派遣法を職場で活かす	中野麻美	月刊労働組合	580	13. 1
労働関係法の改正に関する日本労働弁護団の決議	日本労働弁護団	月刊労働組合	580	13. 1
ディーセント・ワークの実現に向けて	善明建一	社会主義	608	13. 2
改正労働契約法（有期労働契約関係）の解説（講苑）	村山 誠	中央労働時報	1156	13. 1
イギリスにおける有期雇用契約をめぐる法理	山田省三	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
近時の裁判例における労働協約の制度的効力の位置づけ	勝亦啓文	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ケベック州（カナダ）における労働組合の公正代表義務	石井保雄	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ドイツ労働協約における開放条項と労働者代表の役割	新谷真人	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ドイツ労働者派遣法の新動向	川田知子	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
ドイツ解雇法理と法学方法論	米津孝司	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
労働組合法における使用者概念の相対性に関する覚書	榊原嘉明	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
労働契約法における労働条件変更法理の規範構造	毛塚勝利	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12
労働契約における労働協約の引照条項（Bezugnahmeklausel）をめぐる諸問題				
	松井良和	法学新報（中央大）	119-5/6	12.12

改正労働契約法の解説（労働者側視点から）	小川英郎	労働法学研究会報	2541	13.1.15
改正労働契約法等の雇用強制制度をめぐる問題	安西 愈	労働法令通信	2304	13.1.8/18
改正労働契約法と実務	中川恒彦	労務事情	1244	13.1.1/15
*労働法と現代法の理論 上, 下	根本到, 奥田香子, 緒方桂子, 米津孝司編	日本評論社	A5.550, A5.542	13.11
*労働法	小畑史子, 緒方桂子, 竹内寿	有斐閣	A5.274	13.12
79. 労働判例				
中小企業における普通解雇	向井 蘭	中央労働時報	1156	13. 1
日本ヒューレット・パッカード事件（東京地判H24・7・18）		労経ファイル	585/586	13.1.1/15
統合失調症の職員に指定医師への受診命令を行わず、勤務実績不良等を理由とした分限免職は違法		労政時報	3836	12.12.28
労基法の「打切補償」適用は使用者による療養補償受給の場合に限られ、		労災保険受給者の解雇は無効		
		労政時報	3836	12.12.28
業務委託契約者の労働組合法上の労働者性	河合 墨	労働法学研究会報	2541	13.1.15
精神的不調を理由として欠勤を続けた労働者に対する処分	中山達夫	労働法令通信	2304	13.1.8/18

VI 世界労働

90. 総 記				
特集 創立50周年記念シンポジウム 世界の労働運動—今後の“運動”を展望する		国際経済労働研究	1027	13. 2
小さな物語が繋がり支え合う大きな世界の労働運動（2）（篠田 徹）	創立50周年記念シンポジウム 世界の労働運動—今後の“運動”を展望する（コーディネーター：新川敏光	パネリスト：篠田徹 宮本太郎 水島治郎 安周永）		
91. アジア				
公共部門民営化阻止のストに立つ	大森民雄	国際労働運動	436	12.12
全国金属労働組合		国際労働運動	436	12.12
11・11 ソウル、民主労総3万が都心をデモ	室田順子	国際労働運動	437	13. 1
全国言論労働組合		国際労働運動	437	13. 1
中国の末期的危機を示す習近平体制発足	河原善之	国際労働運動	437	13. 1
*マニラの都市底辺層	青木秀男	大学教育出版	A5.210	13.10
92. 中近東				
特集 米帝の侵略と闘うアラブ労働者階級		国際労働運動	436	12.12
闘うエジプト独立労組連盟 チュニア労働者の闘い シリア侵略戦争狙う米帝				
93. ヨーロッパ				
EU首脳会議にギリシャで7万人デモ	川武信夫	国際労働運動	436	12.12
95. 北アメリカ				
特集 アメリカ社会と労働運動		月刊労働組合	580	13. 1
米国の中小支援策に学ぶ（亀崎安弘）	暮しを軸にした労働の再編（山崎 憲）	激戦に決着つけた要因を探る（柏木 宏）		
98. 国際労働運動				
11・4 日・韓・米・独 国際連帯集会	西村泰明, イジェウン, スティーブ・ゼルツァー, ラーベン・ブロンシュタイン	国際労働運動	437	13. 1
99. ILO, 国際機関				
ILOが危惧するアジアの雇用情勢	篠崎 肇	月刊労働組合	578	12.12

VII 歴史

100. 総記

特集 大阪発の危機と歴史学	歴史学研究	901	13. 1
橋下徹・「維新の会」をどう見るか (広川禎秀) 歴史教育の現場から (平井美津子) 大阪市「市政改革プラン」と歴史学会の対応 (島田克彦)			
*現代日本政治史 1, 2, 4, 5	楠綾子, 池田慎太郎, 若月秀和, 佐道明広	吉川弘文館	
	B6.377, B6.234, B6.311, B6.269		13.9, 12.1, 12.3, 12. 6
*砂川事件と田中最高裁長官	布川玲子, 新原昭治編著	日本評論社	A5.184 13.11
*宮本顕治著作集 第9巻, 第10巻	宮本顕治	新日本出版社	B6.381, B6.454 13.11, 13.12
*講座東アジアの知識人 3	趙景達他編	有志舎	A5.370 13.12
*占領者のまなざし	田仲康博	せりか書房	A5.230 13.12
*南満州鉄道沿線の社会変容	芳井研一編	知泉書館	A5.283 13. 3
*患者教師・子どもたち・絶滅隔離<ハンセン病療養所>樋渡直哉	樋渡直哉	地歴社	A5.318 13. 8
*武藤山治	山本長次	日本経済評論社	B6.264 13. 8
101. 生活・労働史 (日本)			
ある旋盤工の占領期体験1945-1950	吉見義明	商学論纂 (中央大)	54-3/4 12.12
*母と父の書簡集 1, 2		A5.256, A5.253	98.7, 98.11
*両親を廻る人々の書簡集		A5.251	98.11
102. 生活・労働史 (外国・国際)			
*抑留まで	ユウジ・イチオカ著	ゴードン・H. チャン, 東栄一郎編	関元訳 彩流社 A5.331 13.10
*シベリア抑留者たちの戦後	富田 武	人文書院	B6.272 13.12
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本)			
*女性官僚の歴史	総合女性史学会編	吉川弘文館	A5.198 13.11
*日本人が知っておくべき「慰安婦」の真実	SAPIO編集部編	小学館	B6.155 13. 8
105. 社会事業・慈善事業史			
埼玉学生誘掖会の奨学金貸与事業について	高田知和	渋沢研究	25 13. 1
106. 社会・労働政策史 (日本)			
*<優生>・<優境>と社会政策	杉田菜穂	法律文化社	A5.326 13.10
*植民地朝鮮と日本	趙 景達	岩波書店	B40.267 13.12
107. 社会・労働政策史 (外国・国際)			
慣習に基づく雇用関係から契約・協約に基づく雇用関係への転換	清水克洋	商学論纂 (中央大)	54-3/4 12.12
スターリン秘史—巨悪の成立と展開 (1)	不破哲三	前衛	891 13. 2
108. 労働運動史 (日本)			
勤評闘争下における愛媛県の教師たちの抵抗の源泉	岩月真也	同志社大学社会学会	評論・社会科学 103 12.11
労教協創立六〇年を考える	山田敬男	前衛	891 13. 2
109. 労働運動史 (外国・国際)			
李小仙オモニと労働運動 (下)	李元甫, 中村猛訳	科学的社会主義	178 13. 2
会社町とブルマン・ストライキ	伊藤健市	関西大学商学論集	57-3 12.12
110. 社会主義運動史 (日本)			
70年安保闘争に敵対		国際労働運動	436 12.12
東大安田講堂死守戦		国際労働運動	437 13. 1
*現代に甦る大杉栄	飛矢崎雅也	東信堂	B6.405 13.11
*日本の社会主義	加藤哲郎	岩波書店	B6.294 13.12
112. 諸社会運動史			
よみがえる一九五〇年代の前衛芸術と社会運動	武居利史	前衛	891 13. 2

特集 解放運動の現場から 東海編	部落解放	673	13. 2
劣悪な環境をなんとか改善したい (古田健二) 解放の灯をともしつづける (小松原正孝, 吉岡良治) 一人ひとりの想いを大切にして (山崎鈴子) 若い活動家が育ちはじめた (松岡克己)			
* 島人 [奄美・徳之島] 二世教師と在日朝鮮人教育	稲富 進	新幹社	B6.329 13.10
* 私の反原発切抜帖	西尾 漠	緑風出版	B6.229 13.11
* 守られなかった奇跡の山	高尾山の自然をまもる市民の会編	岩波書店	A5.71 13.12

戦後日本政治の一翼を担った最大野党・日本社会党
その草創期の活動を記録した貴重な機関紙を完全復刻!

占領期日本社会党機関紙集成 第I期

社会新聞

〔復刻版〕(全6巻)

法政大学大原社会問題研究所——監修

立本紘之——解説

A3判上製・総1344頁

揃定価(本体180,000円+税)

法政大学大原社会問題研究所が収蔵する占領期に発行された日本社会党の機関紙・誌を全4期にわたり復刻。第I期は、一九四六年一月一日に日本社会党の最初の中央機関紙として創刊された『日本社会新聞』(のちに『社会新聞』『週刊社会新聞』と改題)全325号分を収録。結党直後の資料が極端に少ない現状において、日本社会党史の検証にとつてはもろろんのこと、広く占領期の政治状況を研究するうえでも、きわめて重要な資料である。

◇推薦します

・中北浩爾(一橋大学大学院社会学研究科教授)

・福島みずほ(社民党副党首・参議院議員)

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13 TEL.03-3830-1891 FAX.03-3830-5337
http://www.kashiwashobo.co.jp